

中学校 美術科 シラバス

3年間のねらい 学習目標

美術の授業では「表現」と「鑑賞」の二つの領域を経験します。「表現」とは絵画、彫刻、デザイン、工芸などの実技です。「鑑賞」とは様々な芸術作品を見て、感じて、考えたり理解したりして芸術を味わうことで、教科書に載っている作品やビデオ教材や様々な画集を用いた授業を行います。自発的な疑問や感想は積極的に受け付けますので「鑑賞」の授業を通して一般に芸術的と言われている作品を見て自分なりの思いや印象を持てるようになると同時に、他の人の感性や考え方も理解できるよう成長してください。また、「表現」「鑑賞」に関係なく美術を通して何かを感じる力（感受性）、考える力（審美観）を身に付ける事をねらいと目標とします。

第1学年 美術	教科書	美術1（日本文教出版）
	副教材	スケッチブック、画用紙、鉛筆、水彩絵の具、ケント紙、アクリルガッシュ（デザイン用アクリル絵の具）、定規、溝引き棒、烏口、iPad、ビデオ、参考図書、パワーポイント等

学習到達目標

中1では、小学校時代と違ってより自覚的に表現ができるように基礎的なものの見方や描き方又社会との関わりとしてのデザインの基礎を学ぶ。鑑賞においては、ビデオや画集を用いて中1以後の美術への関心を深められるよう学習する。

学習方法

授業での制作、レポート

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	対象（人物・主題・古典絵画）や事象（色彩・構図）を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表現している	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫（構図や色彩）、美術の働き（デザインや肖像画の役割、古典絵画）などについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現（知識の詰め込みではなく得た知識を自分なりに駆使して制作する）及び鑑賞（普遍的な美術知識のみではなく自分なりの感受性を持てるようになる）の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

年間シラバス（1年間の学習予定表）

〈週2時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1学期	1,鉛筆デッサン 2,水彩画	1,形と明暗について学ぶ 2,友達を中心とした教室の風景	<ul style="list-style-type: none"> ・美術、課題への興味,関心 ・発想力、表現方法の理解 ・課題に適した独自の表現,技法,色彩,形,道具の使い方 ・作品の完成度、仕事量以上を総合的に提出作品で評価する。
2学期	平面色彩構成	デザインの基礎的表現の習得	
3学期	発想画（模写）	名画から学び、美術文化理解を深めるとともに発想力を養う	
随	鑑賞	芸術作品の良さを味わい、今後の美術に	レポート

時		対する興味を身に付ける	独自の視点で美術作品を捉えて、感じた事を自分の言葉で文章表現できているか。
---	--	-------------	---------------------------------------

第2学年 美術	教科書	美術2・3上、美術2・3下（日本文教出版）	
	副教材	ニッパー、接着剤、アクリル下地、アクリルガッシュ、粘土、粘土板、粘土べら、画用紙、鉛筆、iPad、ビデオ、参考図書、パワーポイント等	

学習到達目標

中2では中1で養った見方や表現をもとに更に立体的構成表現へと展開してゆく。また表現素材の多様性にも理解を深める。鑑賞においては作品に込められた意味、内容を感じられることを目指す。

学習方法

授業での制作、レポート

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	対象（自動車模型や自身の手）や事象（立体感について）を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表現している	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫（色彩の工夫や立体感の把握）、美術の働き（工業デザイン製品や立体オブジェ）などについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現（知識の詰め込みではなく得た知識を自分なりに駆使して制作する）及び鑑賞（普遍的な美術知識のみではなく自分なりの感受性を持つようになる）の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

年間シラバス（1年間の学習予定表）

〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1学期	立体構成	自動車模型を用いた立体構成 ・立体模型の加工、外装デザイン、塗装等の作業を通して立体的な概念を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・美術、課題への興味、関心 ・発想力、表現方法の理解 ・課題に適した独自の表現、技法、色彩、形、道具の使い方 ・作品の完成度、仕事量 以上を総合的に提出作品で評価する。
2学期	彫刻(彫塑)	彫刻表現 ・モチーフのデッサンを何通りも行い、平面から立体彫刻へと展開する	
3学期	絵画	独創の世界の展開 ・構画画制作	
随時	鑑賞	作品鑑賞 ・芸術作品の良さを味わい、自分なりの印象を持てる審美観を身に付ける	レポート 独自の視点で美術作品を捉えて、感じた事を自分の言葉で文章表現できているか。

第3学年	教科書	美術2・3上、美術2・3下（日本文教出版）	
------	-----	-----------------------	--

美術	副教材	ケント紙、アクリルガッシュ(デザイン用アクリル絵の具)、水彩絵の具、溝引き棒、烏口、画用紙、アクリル下地、クレパス、エアブラシ、絵画用ナイフ、鏡、クレヨン、iPad、ビデオ、参考図書、パワーポイント等
----	-----	--

学習到達目標

中3では第1期二年間の経験をもとに一人の人間としての自己をより深く見つめて表現することを、自らの表現や芸術家の作品鑑賞や表現方法(たとえば抽象的表現など)に接することによって学ぶ。

学習方法

授業での制作、レポート

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	対象(主題)や事象(色彩の性質)を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表現している	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫(色彩の工夫)、美術の働き(平面デザインや近代絵画)などについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。	美術の創造活動の喜びを味わい

年間シラバス (1年間の学習予定表)

〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1学期	平面色彩構成	遠近法を取り入れた構成	<ul style="list-style-type: none"> ・美術、課題への興味、関心 ・発想力、表現方法の理解 ・課題に適した独自の表現、技法、色彩、形、道具の使い方 ・作品の完成度、仕事量以上を総合的に提出作品で評価する。
2学期	絵画(抽象画)	抽象画制作と美術史から学ぶ(制作と鑑賞) ・絵画における抽象的概念の成立と技法を理解し、抽象画を制作	
3学期	絵画(自画像)	自画像制作 ・義務教育における美術の最後に自分を「再現」ではなく「表現」として捉えた自画像を描く	
随時	鑑賞	作品鑑賞 ・作者の生き方や制作の背景までを踏まえて芸術作品を鑑賞する	レポート 独自の視点で美術作品を捉えて、感じた事を自分の言葉で文章表現できているか。